SONY

4-729-506-**02**(1)

FM/AMラジオ

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

© 2018 Sony Corporation　Printed in China

4729506 02　(1)

SRF-R356

サポートページのご案内

ラジオ／CDラジオ・ラジカセサポートのホームページでは、放送を受信できないなどよくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。

URL：
https://www.sony.jp/support/radio/

携帯電話やスマートフォンなどの二次元コード読み取り機能でご利用ください。

型名：SRF-R356

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。
https://www.sony.jp/support/

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル …… **0120-333-020**	フリーダイヤル …… **0120-222-330**
携帯電話・PHS・一部のIP電話 …… **050-3754-9577**	携帯電話・PHS・一部のIP電話 …… **050-3754-9599**
	※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX(共通)　0120-333-389

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「304」+「#」 を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

保証書

持込修理

品名	FM/AMラジオ
型名	SRF-R356
お買上げ日	年　月　日

本書は、本書記載内容(下記記載)で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、お客様側にご記入の上、修理をお申付けください。

ソニー 特約店

お問合せ先：修理相談窓口
フリーダイヤル **0120-222-330**
携帯電話・PHS一部のIP電話からは、050-3754-9599
ホームページ：https://www.sony.jp/support/
ソニーマーケティング株式会社 東京都港区港南1-7-1 〒108-0075

保証期間	お買上げの日から　1年
お客様住所	電話　-　-
お名前	様

無料修理規定

1. 正常な使用状態で保証期間内に製品(ハードウェア)が故障した場合には、本書に従い無料修理をさせていただきます。本書記載の修理対応の重別に出張修理、持込修理、引取修理)を、ご購入の上、以下の対応の種別、出張修理を希望される場合(修理依頼)、(1)お客様ご自宅、(2)ご指定の場所(ご希望の場所)、(3)お近くのソニーサービスステーション、(3)本書に記載の修理相談窓口の3種類です。

種別	受付窓口	保証書の提示・提出	注意事項
出張修理	(1)(2)(3)	出張修理担当者が訪問した際に提示	※1
持込修理	(1)(2)	持参した製品の修理依頼の際に提示	※2
引取修理	(3)	製品の引取時に指定業者へ提出	※2

※1 離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理となる場合、出張費用を頂きます。
※2 (1)(2)をご希望されない場合は、(3)にご相談ください。

2. お客様のご要望により、出張修理の種別について出張修理・引取修理を、修理の種別について出張修理・引取修理の種別について出張修理を行う場合は、別途所定の料金を申し受けます。
3. 保証期間内の故障でも次の場合には有料となります。
(1)本書のご提示がない場合(2)本書に記載された事項が、お買上げ日およびソニー一特約店の記載がない場合または本書の記載を書き換えた場合(3)保証期間中に発生した故障修理費、本体出荷・ソルガ等の注意書に従った正常な使用しなかったが故障(4)故障の原因が、ソニー以外の者による故障・損傷(5)他の機器から受けた損害または不当な修理・改造による故障・損傷(6)お買上げ後の移設、輸送、落下などによる故障・損傷(7)火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧などによる故障・損傷(8)業務用などの一般家庭用以外での使用による故障・損傷(9)消耗・摩耗した部品の交換、汚損した部分の交換などの状態での使用により、修理にかえて製品交換をする場合があります。
4. 故障の他の原因が、ソニーにて、修理にかえて製品交換をする場合があります。また、修理により交換した部品は無償とさせていただきます。
5. 修理により交換した部品は無償とさせていただきます。
6. 本書に基づく無料修理(製品交換を含む)後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。
7. 故障によりお買上げの製品を使用できなかったことによる損害について記録媒体を誤操作した場合、故障の際または修理・交換により記録内容が消失等する場合がありますが、記録内容についての補償はいたしません。
8. 本書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
9. 本書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

修理メモ

＊本書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
＊保証期間後の修理については、取扱説明書をご覧ください。　T02-5

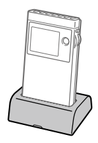
準備する

1 乾電池を入れる。

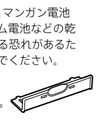
単4形乾電池1本(付属)を、⊕と⊖の向きを正しく入れる。必ず⊖側から先に入れてください。

別売りのラジオ用充電キットに対応しています

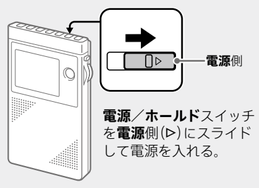
本機は単4形充電式ニッケル水素電池でもお使いいただけます。
別売りのラジオ用充電キット「BCA-TRG3KIT」を使うと、キットに付属の充電式電池を本体に入れた状態で充電できます。



ご注意
- アルカリ電池、マンガン電池およびリチウム電池などの乾電池は加熱する恐れがあるため充電しないでください。
- 別売りの充電キットで充電する際は、必ずキットに付属しているアタッチメントを充電台に装着してから、ラジオをのせて充電してください。



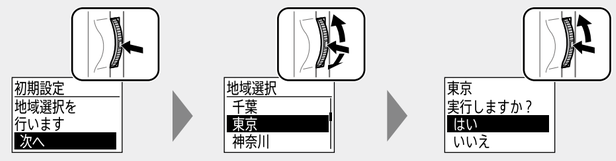
2 **電源／ホールド**スイッチをスライドして、電源を入れる。



電源／ホールドスイッチを**電源**側(▷)にスライドして電源を入れる。

ちょっと一言
電源が入った状態のときに**電源**側(▷)にスライドすると、電源が切れます。

3 画面の指示に従って、お使いになる地域(エリア)を設定する。



ジョグレバーを押して次に進む。

ジョグレバーを上下に動かしてお使いになる地域を選び、ジョグレバーを押す。

ジョグレバーを上に動かして「はい」を選び、ジョグレバーを押す。地域を選び直したいときは、「いいえ」を選んでひとつ前の画面に戻ることができます。

4 受信画面が表示されるまで待つ。

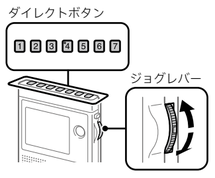
初期設定が完了すると、FM放送の受信画面に切り換わり、ジョグ選局リストの最初の放送局の受信が始まります。

これで初期設定は完了です。

地域を設定し直したいときは…
うら面の「各種の設定をする」の「地域選択」をご覧ください。

ちょっと一言
初期設定後に放送を受信したときに、本局からの距離が遠かったり、電波が弱いなどの原因で、放送を聞くことができない場合があります。中継局が整備されている地域では、中継局を設定することで放送が聞きやすくなることがあります。中継局について詳しくは、「はっきりした音で聞くには」の「中継局について」をご覧ください。

初期設定が完了すると、選んだ地域で受信可能な放送局が自動的にジョグ選局リストに登録され、ダイレクトボタン(**1**～**7**)にも放送局が割り当てられます。



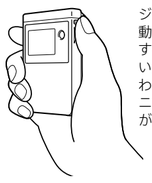
ちょっと一言
- 放送局は、FM、AMでそれぞれ登録されます。
- 地域によっては、**1**～**7**のダイレクトボタンすべてに割り当てがあるわけではなく、空いている番号がある場合もあります。

選択できる地域(エリア)について

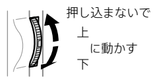
お住いの都道府県を選ぶだけで、主要な放送局や中継局を簡単に選局できます(スーパーエリアコール)。

地域
北海道／札幌　北海道／函館 北海道／旭川　北海道／室蘭　北海道／釧路 北海道／帯広　北海道／北見
青森　岩手　宮城　秋田　山形　福島
茨城　栃木　群馬　埼玉　千葉　東京　神奈川
新潟　富山　石川　福井　山梨　長野　岐阜 静岡　愛知　三重
滋賀　京都　大阪　兵庫　奈良　和歌山
鳥取　島根　岡山　広島　山口
徳島　香川　愛媛　高知
福岡　北九州　佐賀　長崎　熊本　大分　宮崎 鹿児島
沖縄

ジョグレバーの使いかた



ジョグレバーは、「上下に動かす／動かしたままにする」「押す」の操作を使い分けることで、時刻合わせや選局、「設定」メニューでの設定操作などができます。



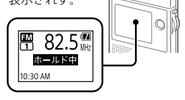
設定項目や周波数を選びます。「動かしたままにする」にすると、早送りで周波数や設定値を変えることができます。

現在選択している設定値や表示されている機能を確定します。

ホールド機能について

電源／ホールドスイッチをスライドしてホールド機能を有効にすると、不用意に電源が入ったり、受信局が切り換わるなどの誤操作を防げます。

ホールド機能を有効にすると、「ホールド中」と表示されます。



ホールド機能を有効にする

🎧/切換スイッチと**音量**つまみ以外のボタン操作ができなくなります。

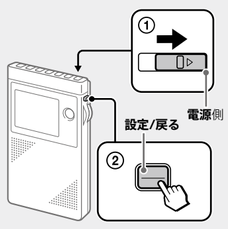
ホールド機能を解除する

「ホールド中」の表示が消え、ボタン操作ができるようになります。

ご注意
電源オフ時にホールド機能を有効にした場合は、「ホールド中」は表示されません。

時計を合わせる

1 **電源／ホールド**スイッチをスライドして電源を入れ、**設定/戻る**ボタンを押す。



ジョグレバーを上下に動かして「時刻設定」を選び、ジョグレバーを押す。

ご注意
設定モードに入ると、ラジオの音声は聞こえなくなります。

2 時、分を合わせる。

ジョグレバーを上下に動かして時を合わせ、ジョグレバーを押す。「AM」、「PM」の表示も確認しながら時を合せてください。

ジョグレバーを上下に動かして分を合わせ、ジョグレバーを押す。**設定/戻る**ボタンを押して「設定」メニューを終了してください。

これで時刻設定は完了です。

電源オフ時の時計表示について

電源を切った状態のときに、いずれかのボタンまたはジョグレバーを操作すると、約3秒間バックライトが点灯し、時計が表示されます。

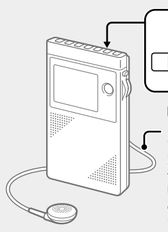
10:30 AM

ご注意
- バックライトが点灯しても、電源は入りません。ご使用になる場合は、**電源／ホールド**スイッチを操作して電源を入れ直してください。
- ホールド機能を有効にしているときは、時計は表示されません。
- 時刻設定をしない場合、時計表示は、「--:--」となります。

ラジオを聞く

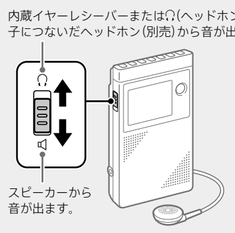
「準備する」の初期設定で自動で登録された放送局の中から聞きたい放送局を選局できます。
手動で周波数を合わせたい場合は、「手動で周波数を合わせて放送を聞くには」をご覧ください。

1 **電源／ホールド**スイッチをスライドして、電源を入れる。



FM放送を聞くときはイヤーレシーバーのコードを白線が見えるまで引き出してください。詳しくは、「内蔵イヤーレシーバーについて」の「イヤーレシーバーのコードの引き出しかた」をご覧ください。

2 🎧/🔈切換スイッチでイヤーレシーバーで聞くか、スピーカーで聞くかを選ぶ。



3 **FM/AM**ボタンを押して、FM放送またはAM放送を選ぶ。

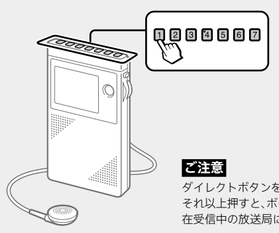
ボタンを押すたびに、FM放送とAM放送が切り換わります。

4 聞きたい放送局を選ぶ。

ジョグレバーで選ぶ

登録された放送局をジョグレバーで順番に送って選びます。

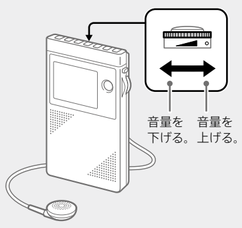
ダイレクトボタンで選ぶ



放送局が登録されていないボタンを押した場合は、「ピピッ」と音がして未登録であることをお知らせし、放送局は切り換わりません。登録済みの別のボタンを押すか、放送局を登録してください。登録のしかたについて詳しくは、「よく聞く放送局をダイレクトボタンに登録する」をご覧ください。

ご注意
ダイレクトボタンを押すのは2秒以下にしてください。それ以上押すと、ボタンに登録されている放送局が、現在受信中の放送局に置き換わってしまいます。

5 **音量**つまみで音量を調節する。



放送受信画面について

*1　FMの周波数の単位はMHz、AMの周波数の単位はkHzです。
*2　ダイレクトボタンに登録された放送局を受信している場合に表示します。
*3　「選局方法」が「周波数で選局」の場合、放送局名は表示されません。

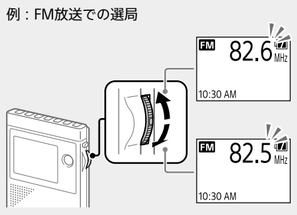
手動で周波数を合わせて放送を聞くには

初期設定で登録される放送局に聞きたい放送局が無いときは、「選局方法」の設定を「周波数で選局」に切り換えることで、手動で周波数を合せて放送を聞くことができます。「選局方法」については、うら面の「各種の設定をする」の「選局方法」もあわせてご覧ください。

① **設定/戻る**ボタンを押して、「設定」メニューを表示する。
② 「選局方法」を選び、「周波数で選局」に切り換える。
③ **設定/戻る**ボタンを2回押して受信画面に戻る。
④ ジョグレバーを操作して選局する。

ジョグレバーを上下に1回動かすごとに、以下の選局単位で周波数が切り換わります。
「周波数で選局」の場合は、放送局名は表示されません。

例：FM放送での選局



■FM放送の場合：
0.1 MHzずつ周波数が切り換わる
(範囲：76.0 MHz ～ 108.0 MHz)

■AM放送の場合：
9 kHzずつ周波数が切り換わる
(範囲：531 kHz ～ 1,710 kHz)

ほかの放送局を受信したり、混信で聞きにくいときは…
「局別受信設定」の設定を変更してみてください。
詳しくは、うら面の「各種の設定をする」の「局別受信設定」をご覧ください。

よく聞く放送局をダイレクトボタンに登録する

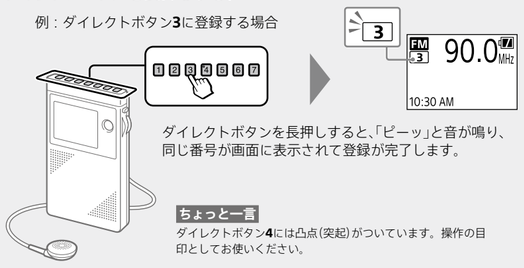
ダイレクトボタン(**1**～**7**)にFM放送、AM放送で各7局登録することができます。
お好みの放送局を登録すると、「準備する」の初期設定でダイレクトボタンに自動的に割り振られた放送局に上書きします。

1 登録したい放送局を受信する。

放送局の受信のしかたは、「ラジオを聞く」をご覧ください。

2 「ピーッ」と音が鳴り、画面に同じ番号が表示されるまで、登録したい番号のダイレクトボタンを長押しする。

例：ダイレクトボタン**3**に登録する場合

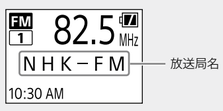


ダイレクトボタンを長押しすると、「ピーッ」と音が鳴り、同じ番号が画面に表示されて登録が完了します。

ちょっと一言
ダイレクトボタン**4**には凸点(突起)がついています。操作の目印としてお使いください。

放送局名について

放送局名は、ダイレクトボタン登録時の「選局方法」が「放送局名で選局」の場合にのみ表示されます。「周波数で選局」を「選局方法」に選んでいた場合には表示されません。(ダイレクトボタンへの登録後に「選局方法」を切り換えても表示はされません。)
「選局方法」について詳しくは、うら面の「各種の設定をする」の「選局方法」をご覧ください。



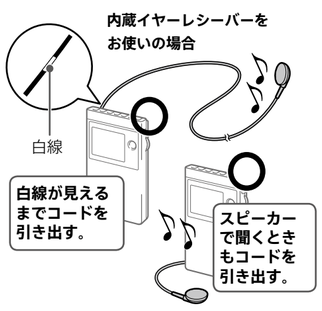
登録済みのボタンに別の放送局を登録するには

手順1~2を繰り返してください。
前に登録していた放送局が消え、現在受信中の放送局に置き換わります。

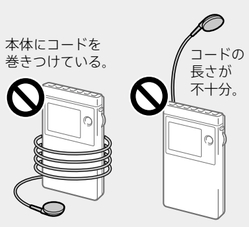
はっきりした音で聞くには

アンテナを確認する(FM放送)

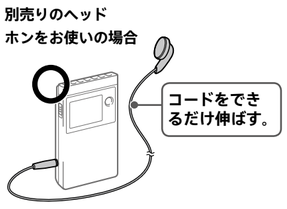
内蔵イヤーレシーバーのコード(またはヘッドホン(別売)のコード)がFM放送を聞くときのアンテナの働きをします。



受信状態が悪くなることがあります。

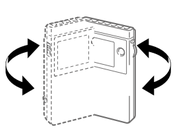


別売りのヘッドホンをお使いの場合

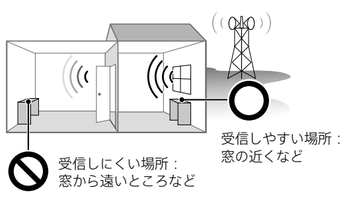


アンテナを確認する(AM放送)

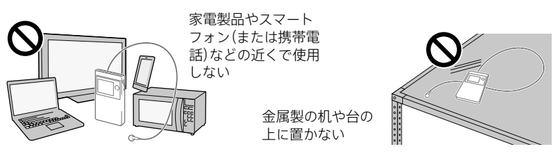
AMのアンテナは本体に内蔵されています。
受信状態の良い本体の向きを探してください。



受信する場所を変えてみる



電車内ではドアや窓のそばで使う



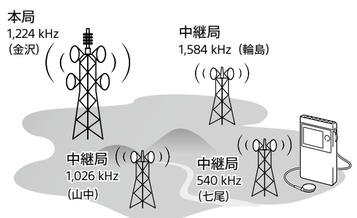
次のような場所では電波が届きにくく、受信状態が悪くなることがあります。

中継局について

放送局が本局のほかに「中継局」を整備している地域では、よりお使いの場所に近い中継局の周波数に設定することで、同じ放送が聞きやすくなる場合があります。なお、中継局が整備されていない地域では、中継局の設定はできません。

中継局の設定については…
うら面の「各種の設定をする」の「中継局選択」をご覧ください。

例えば、以下のように、お使いの場所が金沢本局よりも七尾中継局に近いといった場合、中継局を七尾の周波数にすることで、放送が聞きやすくなることがあります。

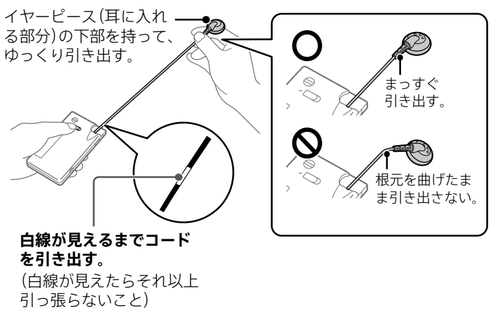


初期設定で地域を石川県に設定した場合、AMの放送局リストにはNHK第1／本局(1,224 kHz／金沢)が登録されますが、七尾では540 kHz、輪島では1,584 kHz、というように、各地で周波数が異なります。

内蔵イヤーレシーバーについて

FM放送を聞くときは、コードがアンテナの役割をします。イヤーレシーバーのコードを白線が見えるまで正しく引き出して使用し、使用後はコードを巻き取ってください。不適切な引き出しかたや巻き取りかたをすると、コード内の信号線が断線し、音が出なくなる場合があります。

イヤーレシーバーのコードの引き出しかた

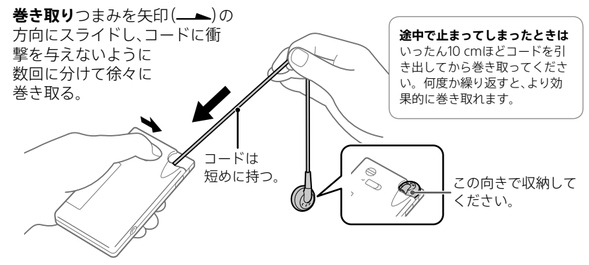


ご注意
- 🎧(ヘッドホン)端子に別売りのヘッドホンをつなぐと、内蔵イヤーレシーバーから音は出なくなります。
- 放送を聞きながらコードを引き出したり巻き取ったりすると、雑音が聞こえる場合があります。
- コードを白線の目安を越えて最後まで無理に引き出すと、コード内の信号線が断線したり、**巻き取り**つまみでコードが巻き取れなくなる恐れがあります。

イヤーレシーバーのコードの巻き取りかた

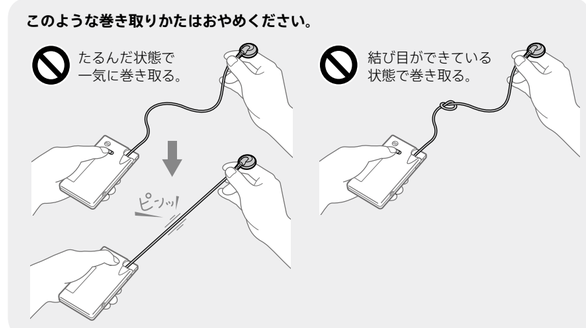
正しい巻き取りかた

巻き取りつまみを矢印(▬▶)の方向にスライドし、コードに衝撃を与えないように数回に分けて徐々に巻き取る。



途中で止まってしまったときは
いったん10 cmほどコードを引き出してから巻き取ってください。何度か繰り返すと、より効果的に巻き取れます。

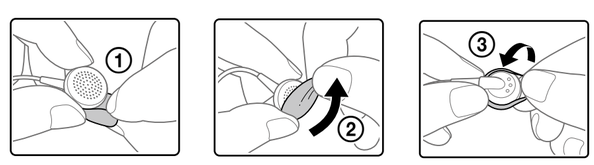
このような巻き取りかたはおやめください。



ご注意
- イヤーレシーバーを耳につけたまま巻き取らないでください。コードが顔に強く当たることがあります。
- 巻き取りの際は、コードを衣服などのファスナーへはさみこまないよう充分に気をつけてください。
- 手を添えないで勢いよく巻き取ると故障の原因となります。

イヤーパッドの取り付けかた

イヤーピース(耳に入れる部分)が耳にぴったり合わないときに取り付けます。



① イヤーパッドの一端を、指とイヤーピースで挟むようにして持つ。
② 反対側の一端をつまんでゆっくりと引っ張りイヤーピースの縁に被せる。
③ 同じ要領でイヤーパッドを徐々に被せ、全体がしっかり被るように整える。

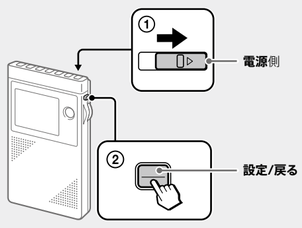
ご注意
イヤーパッドを強く引っ張ると裂ける恐れがあります。ゆっくりと少しずつ取り付けてください。

便利な機能を使う

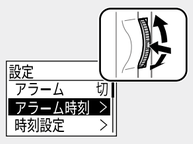
アラーム機能を設定する

設定した希望の時刻にブザーを鳴らすことができます。アラーム機能を使うには、あらかじめ時刻を設定しておく必要があります。

1 **電源**／**ホールド**スイッチをスライドして電源を入れ、**設定/戻る**ボタンを押す。

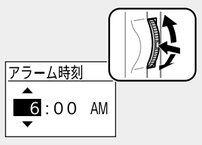


2 「設定」メニューの中から「アラーム時刻」を選ぶ。

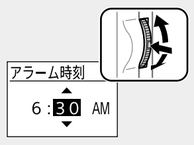


ジョグレバーを上下に動かして「アラーム時刻」を選び、ジョグレバーを押す。

3 アラームの時刻を設定する。

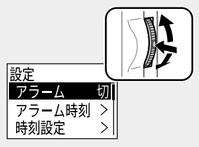


ジョグレバーを上下に動かして時を合わせ、ジョグレバーを押す。「AM」、「PM」の表示も確認しながら時を合せてください。



ジョグレバーを上下に動かして分を合わせ、ジョグレバーを押す。

4 アラーム設定を有効にする。



ジョグレバーを上下に動かして「アラーム　切」を選び、ジョグレバーを押す。表示が「アラーム　入」に切り換わり、アラーム設定が有効となります。

設定/戻るボタンを押し、受信画面に戻る。

画面に「⏲」が表示されていることを確認する。設定した時刻になるとブザーが鳴ります。

ブザーを止めるには

いずれかのボタンを押すと、ブザーが止まります。止めない場合は約3分間鳴り続けます。

アラーム機能を解除したいときは

手順4の要領で「アラーム　切」を選びます。

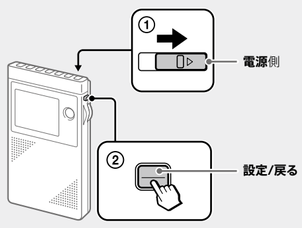
ちょっと一言

- アラーム機能を有効にしたあとで本機の電源を切った場合は、アラームの設定時刻になると自動的に電源が入り、ブザーが鳴ります。ブザーを止めると電源が切れます。
- アラーム機能は、1度作動すると設定が解除されます。毎日同じ時刻にブザーを鳴らすには、毎日アラーム設定を有効にする必要があります。
- ラジオを聞いているときにアラーム設定時刻になるとブザーが鳴りますが、ブザーを止めるとラジオ放送の音声に戻ります。
- ブザーの音量は調節できません。

オートオフ機能を設定する

電池の無駄な消耗を防ぐため、一定時間が過ぎると自動的に電源が切れるように設定できます。
（オートオフ機能は、お買い上げ時の初期設定では「切」に設定されています。）

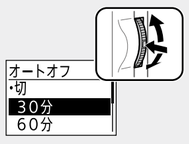
1 **電源**／**ホールド**スイッチをスライドして電源を入れ、**設定/戻る**ボタンを押す。



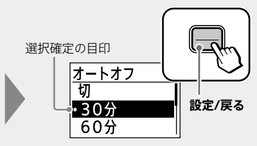
2 「設定」メニューから「オートオフ」を選ぶ。

ジョグレバーを上下に動かして「オートオフ」を選び、ジョグレバーを押す。

3 オートオフの時間を設定する。



ジョグレバーを上下に動かしてお好みの時間を選び、ジョグレバーを押す。
「30分・60分・90分・120分」の中から選べます。



選択した時間が確定されていることを確認し、**設定/戻る**ボタンを2回押して受信画面に戻る。時間設定が確定すると、オートオフは自動的に有効になります。

画面に「オートオフ」が表示されていることを確認する。選択した時間が経過すると、本機の電源が切れます。

オートオフを解除するには

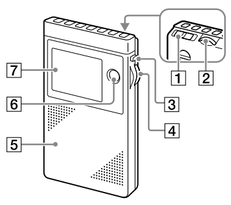
手順3の要領で「切」を選びます。

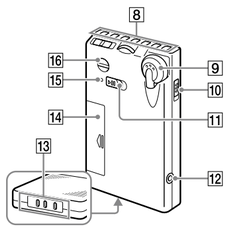
オートオフの設定について

設定したオートオフの時間設定は、電源が切れたあとも保持されます。オートオフを解除しない限り同じ時間設定で電源が切れることになりますので、オートオフ機能を使いたくないときは解除してください。

オートオフを解除（「切」）にすると、「オートオフ」の表示が消えます。

各部のなまえ

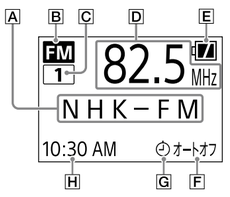




1 **電源**／**ホールド**スイッチ
2 **音量**つまみ*
3 **設定/戻る**ボタン
4 ジョグレバー
5 スピーカー
6 **FM/AM**ボタン
7 液晶画面
8 ダイレクトボタン（**1**～**7**）*
9 イヤーレシーバー
10 🎧/🔈（ヘッドホン／スピーカー）切換スイッチ
11 **巻き取り**つまみ
12 🎧（ヘッドホン）端子
13 充電端子
14 電池ぶた
15 **リセット**ボタン
16 ストラップ穴
お手持ちのストラップなどを取り付けることができます。

* **音量**つまみ近くの音量を上げる側とダイレクトボタンの**4**番には、凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

表示画面について

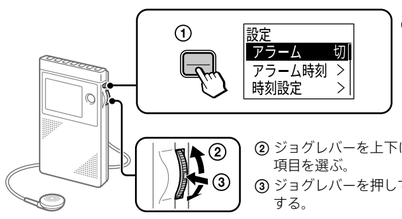


A 放送局名
「選局方法」を「放送局名で選局」に設定しているときに表示します。
B FM/AM
現在選択しているラジオ機能を表示します。
C ダイレクトボタン番号
ダイレクトボタンに登録された放送局を受信しているときに表示します。
D 周波数
現在受信している周波数を表示します。（FMの周波数の単位はMHz、AMの周波数の単位はkHzです。）
E 電池残量
電池残量を表示します。
F オートオフ
オートオフを設定しているときに表示します。
G アラーム表示
アラームを設定しているときに表示します。
H 時計表示

各種の設定をする

操作のしかた

電源が入った状態で操作してください。



① **設定/戻る**ボタンを押して、「設定」メニューを表示する。
② ジョグレバーを上下に動かして、設定したい項目を選ぶ。
③ ジョグレバーを押して、選択した項目を確定する。

ひとつ前の画面へ戻るには

設定/戻るボタンを押す。

設定の操作を終了するには

設定/戻るボタンを受信画面に戻るまで必要回数押す。

「設定」メニュー一覧

設定中に約60秒間操作しないと、自動的に受信画面に戻ります。設定が完了する前に受信画面に戻ってしまったときは、設定操作をやり直してください。

アラーム

アラーム機能の入／切を設定します。ジョグレバーを押すたびに、入または切の設定に切り換わります。

入
アラーム設定が有効となります。

切（初期設定）
アラーム設定を解除します。

アラーム時刻

アラーム機能でブザーを鳴らす時刻を設定します。詳しくは、「便利な機能を使う」の「アラーム機能を設定する」をご覧ください。なお、アラーム機能を使うには、あらかじめ本機の時計を合せておく必要があります。

時刻設定

本機の時計を合わせます。詳しくは、おもて面の「準備する」の「時計を合わせる」をご覧ください。

オートオフ

オートオフ機能の入／切および時間を設定します。詳しくは、「便利な機能を使う」の「オートオフ機能を設定する」をご覧ください。
なお、オートオフ機能は、お買い上げ時の初期設定では「切」に設定されています。

選局方法

放送局の選び方を設定できます。「選局方法」については、FM/AMのそれぞれで独立して設定できます。

放送局名で選局（初期設定）
地域選択で登録された放送局名で選局します。

周波数で選局
手動で聞きたい放送局の周波数に合わせます。

地域選択

初期設定で設定した地域を選び直します。旅行先などいつもと違う場所でお使いになるときに、「地域選択」をやり直してください。手順について詳しくは、おもて面の「準備する」の手順3～4をご覧ください。お使いになる地域に合ったFMとAMの放送局が本機に登録されます。

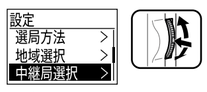
ちょっと一言

「地域選択」を実行すると、以下の情報が書き換わります。
- ジョグ選局リストの放送局
- ダイレクトボタンの放送局
- 中継局の設定
- 局別受信設定

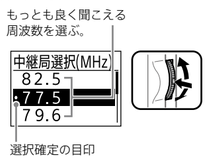
中継局選択

現在聞いている放送局の中継局を、リストから周波数を選んでほかの中継局に変更します。中継局の変更は、「選局方法」を「放送局名で選局」に設定した状態で行います。

① 「選局方法」が「放送局名で選局」に設定されているか確認する（すでに設定済みの場合は、手順③から始めてください）。
② **設定/戻る**ボタンを2回押していったん受信画面に戻る。
③ ジョグレバーを上下に動かして、中継局を変更したい放送局を選ぶ。
④ **設定/戻る**ボタンを押して「設定」メニューを表示し、「中継局選択」を選ぶ。



⑤ ジョグレバーを上下に動かして、もっとも音声が良く聞こえる中継局の周波数を確認して選び、ジョグレバーを押して確定する。



⑥ **設定/戻る**ボタンを2回押して設定を終了する。

ちょっと一言

「選局方法」が「周波数で選局」に設定されているときは、中継局は選べません。また、中継局が整備されていない地域の場合も、中継局は選択できません。これらの場合には、中継局選択の画面に現在受信している放送局の周波数のみが表示されます。

ノイズカット

FM/AMラジオ受信時のノイズを除去し、音声を聞き取りやすくします。ジョグレバーを押すたびに、入または切の設定に切り換わります。
電波が弱く、雑音が気になるときにノイズカットを入にすると、改善される場合があります。

入
ノイズカット機能を有効にして、ノイズを除去します。

切（初期設定）
ノイズカット機能を無効にします。

ヘッドホンアウト

別売りのヘッドホンを本機の🎧（ヘッドホン）端子につないでFMラジオの音声を聞くときに、ステレオかモノラルかを選べます。ジョグレバーを押すたびに、ステレオまたはモノラルの設定に切り換わります。別売りのヘッドホンについて詳しくは、「別売りのヘッドホンのご使用について」をご覧ください。

モノラル（初期設定）
FM放送をモノラル音声で聞きます。

ステレオ
FM放送をステレオ音声で聞きます。受信するFM放送がモノラル放送の場合は、「ステレオ」を選んでいても、モノラル音声となります。

ちょっと一言

- 本機の内蔵イヤーレシーバーで聞く場合は、設定にかかわらずモノラル音声となります。
- ステレオ放送を聞く場合に、ステレオヘッドホンをつないで「モノラル」を選んだ場合は、両チャンネルともモノラルの音声で聞こえます。モノラルタイプのヘッドホンをつないだ場合は、「ステレオ」の設定を選んでいても、ステレオ放送の左チャンネルのみの音声が聞こえます。
- 本機のスピーカーから聞こえる音は、設定にかかわらずモノラルになります。

操作音

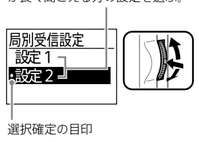
ボタン操作やジョグレバー操作のときの音の有無を設定します。ジョグレバーを押すたびに、切または入の設定に切り換わります。

入（初期設定）
ボタン操作時に音が鳴ります。

切
ボタン操作時に音は鳴りません。

局別受信設定

「周波数で選局」で選局したときに、ほかの放送局の放送が聞こえたり、混信して聞きにくいときは、設定を「設定1」または「設定2」のいずれかに切り換えることで聞きやすくなる場合があります。放送局ごとに音を聞きながら、より良い受信状態となる設定を選んでください。
設定後は、ダイレクトボタンに登録することをおすすめします。詳しくは、おもて面の「よく聞く放送局をダイレクトボタンに登録する」をご覧ください。



ちょっと一言

リセットボタンでリセットした場合や、電池の消耗で各種設定が消えた場合、選択した「局別受信設定」の設定は本機に登録された状態で保持されます。ただし、「設定」メニューの「初期化」を実行した場合は、各放送局の設定は初期設定に戻りますので、「局別受信設定」をやり直してください。

初期化

本機をお買い上げ時の状態に戻すことができます。
「はい」を選ぶと、初期化が実行され、「初期化実行中」の表示後に自動的に電源が切れます。

ご注意

初期化実行中に電池を抜かないでください。

使用上のご注意

温度上昇について
本機を充電または、長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

イヤーレシーバーについて
- イヤーレシーバーをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはソニーの相談窓口（おもて面）にご相談ください。
- イヤーレシーバーは、音量を上げすぎると音が外にもれます。音量を上げすぎてまわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、イヤーレシーバーで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。
- 耳をあまり刺激しないように、適度な音量でお楽しみください。

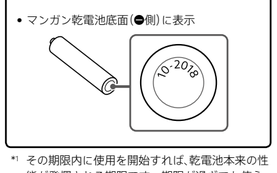
静電気に関するご注意
空気が乾燥する時期に耳にピリピリと痛みを感じることがありますが、イヤーレシーバーの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより軽減されます。

乾電池の使用推奨期限について
乾電池を使用する前に「使用推奨期限」*を確認し、期限内の乾電池を使用してください。

乾電池は常温で保管していても自然放電しています*2。
買い置きなどで長期間保管した乾電池は容量が少なくなっており、使用できなかったり、使用できる時間が短くなる場合があります。

ソニー製乾電池での表示例*3
（使用推奨期限が2018年10月の場合）
- アルカリ乾電池側面に表示

- マンガン乾電池底面（⊖側）に表示



*1 その期限内に使用を開始すれば、乾電池本来の性能が発揮される期限です。期限が過ぎても使えなくなるわけではありません。
*2 保管温度が高くなると放電量は多くなります。涼しいところに保管してください。
*3 使用する乾電池によって表示は異なります。

取り扱いについて
- 長期間使用しないときは、電池を抜いてください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 温度が非常に高いところ（40 ℃以上）や低いところ（0 ℃以下）。
  - 直射日光のあたる場所、暖房器具の近くや照明器具の下など。
  - 風呂場など湿気の多いところ。
  - 窓を閉めきった自動車内（特に夏季）。
  - ほこりの多いところ。
  - 磁石、スピーカーボックス、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
  - 激しい振動のあるところ。
- 本機の内部に液体や異物を入れないでください。
- 汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナーやベンジンは表面をいためますので使わないでください。
- キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカーの磁石の影響でカードの磁気が変化して使えなくなることがあります。
- 水がかからないようご注意ください。本機は防水仕様ではありません。特に以下の場合ご注意ください。
  - 洗面所などで本機をポケットに入れての使用。身体をかがめたときなどに、落として水ぬれの原因になる場合があります。
  - 雨や雪、湿度の多い場所での使用。
  - 汗をかく状況での使用。ぬれた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに本機を入れると、水ぬれの原因になることがあります。

機銘板について
機銘板は本機の裏面に表示されています。

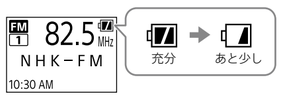
充電式電池の廃棄について

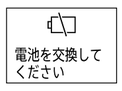
このマークはニッケル水素電池のリサイクルマークです。

Ni-MH
ニッケル水素電池はリサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は、金属部にテープを貼って絶縁してリサイクル協力店へお持ちください。
充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、一般社団法人JBRCホームページを参照してください。
http://www.jbrc.com/

電池交換の目安

電池が消耗してくると電池残量表示が変わります。電池残量を目安に電池を交換してください。





電池切れの状態になると、警告音とともに電池交換をうながす画面が表示され、約3秒後に電源が切れます。

ご注意

乾電池は、電源を切った状態で2分以内に交換してください。交換に2分以上かかると、本機はリセットしたときと同じ状態になります。詳しくは、「困ったときは」の「本機の調子が悪いときは」に記載している「リセットについてのご注意」をご覧ください。

電池の持続時間（JEITA*1）

アルカリ乾電池*2

	FM	AM
イヤーレシーバー使用時	約78時間	約100時間
スピーカー使用時	約27時間	約32時間

マンガン乾電池*3

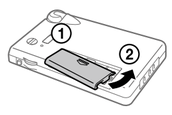
	FM	AM
イヤーレシーバー使用時	約34時間	約43時間
スピーカー使用時	約10時間	約12時間

充電式ニッケル水素電池*4

	FM	AM
イヤーレシーバー使用時	約53時間	約72時間
スピーカー使用時	約20時間	約23時間

*1 JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。実際の電池持続時間は周囲の温度や使用状況により、短くなる場合があります。
*2 ソニー単4形アルカリ乾電池（LR03）を使用した場合
*3 ソニー単4形マンガン乾電池（R03）を使用した場合
*4 ソニー単4形充電式ニッケル水素電池（NH-AAA）を使用した場合

電池ぶたがはずれたときは



電池ぶたがはずれたときは、右側または左側のツメを本体の溝に向けて滑らすようにしてはめ込み（①）、逆側のツメを溝に差し込んではめてください（②）。

ワイドFMについて

本機は、ワイドFM放送（FM補完放送）に対応しています。
ワイドFM放送とは、AM（中波）放送局の放送エリアにおいて、難受信対策や災害対策のために従来のFM放送用の周波数（76 MHz～90 MHz）に加えて、新たに割り当てられた周波数（90.1 MHz～95 MHz）を用いてAM番組を放送することです。

地域選択で本機に登録されるワイドFM放送局（FM補完中継局）

「準備する」の初期設定を行うと、ワイドFMの放送局も本機に登録されます。登録された放送局は、「選局方法」を「放送局名で選局」に設定しているときに下記の表の放送局名で表示されますが（地域選択で選ぶ地域によって表示されるワイドFM放送局は異なります。）、受信する場所によっては、放送局名で選局しても、中継局からの距離が遠かったり、電波が弱いなどの原因で、放送を聞くことができない場合があります。
なお、登録されるワイドFM放送局は（下記表）、2017年12月時点で放送開始済みの放送局、および一部の放送開始予定の放送局です。

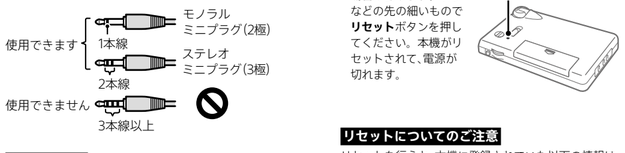
周波数（MHz）	放送局名
90.4	STVラジオ
91.5	HBCラジオ
91.7	RABラジオ
90.6	IBCラジオ
93.5	TBC-FM
90.1	ABSラジオ
90.8	ラジオ福島
94.6	i-fm
94.1	CRT-FM
90.5	TBSラジオ
91.6	文化放送
93.0	ニッポン放送
92.7	BSNラジオ
90.2	KNBラジオ
94.0	MROラジオ
94.6	FBCラジオ
90.9	YBSラジオ
92.2	SBCラジオ
90.4	ぎふチャン
93.9	SBSラジオ
92.9	東海ラジオ
93.7	CBCラジオ
94.9	KBS京都ラジオ
90.6	MBS-FM90.6
91.9	ラジオ大阪
93.3	ABCラジオ
94.2	和歌山放送FM
92.2	BSSラジオ
94.6	RCC-FM
92.3	エフエムKRY
91.7	エフナン
90.2	KBCラジオ
91.0	RKBラジオ
93.5	NBCラジオ佐賀
92.6	NBCラジオ
91.4	RKKラジオ
93.3	OBSラジオ
90.4	MRTラジオ
92.8	MBCラジオ
92.1	RBC-FM
93.1	ROK-FM

地域選択で登録されないワイドFM放送局を聞くには？

ワイドFMは全国に拡大中です。今後新しく増える放送局は、「設定」メニューの「地域選択」をやり直しても登録されないため、放送局名で選局することはできません。上記の表にない放送局のワイドFM放送をお聞きになりたいときは、「選局方法」を「周波数で選局」に設定して、手動で周波数を合わせてください。
手動で合わせたワイドFM放送局の周波数は、ダイレクトボタンに登録しておくことをおすすめします。
なお、上記放送局以外のワイドFM放送については、放送局名は表示されません。

別売りのヘッドホンのご使用について

🎧（ヘッドホン）端子に別売りのヘッドホンをつないで聞くこともできます。その場合はモノラルミニプラグ（2極）かステレオミニプラグ（3極）のヘッドホンをお使いください。これら以外のタイプのヘッドホンを使うと、ノイズが混じったり、音が出ない場合があります。ヘッドホンをお使いのときは、必ずヘッドホンのプラグのタイプをご確認ください。



ちょっと一言

ステレオヘッドホンをお使いになる場合は、ステレオヘッドホン用の設定に切り換えることをおすすめします。詳しくは、「各種の設定をする」の「ヘッドホンアウト」をご覧ください。

困ったときは

修理をご依頼いただく前に、次のことをお調べください。

画面の文字や記号が薄くて見にくい
- 極端に暑い場所や寒い場所、湿度の高い場所では表示が見えにくくなることがあります。

電源が入らない
- 電池が消耗しています。乾電池を新しいものと交換してください。

音が聞こえない
- 電池が消耗しています。乾電池を新しいものと交換してください。
- 電池の＋と－の向きを正しく入れてください。
- 音声出力が🎧（ヘッドホン）に設定されていると、スピーカーから音は出ません。スピーカーで聞くときは、🎧/🔈切換スイッチを🔈（スピーカー）に切り換えてください。
- 音量が最小になっていないか確認してください。最小になっている場合は**音量**つまみで音量を調節してください。
- モノラルミニプラグ（2極）、ステレオミニプラグ（3極）以外のヘッドホンを使うと、音が出ない場合があります。ヘッドホンをお使いの場合は、プラグのタイプをご確認ください。詳しくは、「別売りのヘッドホンのご使用について」をご覧ください。

音がひずむ
- 電池が消耗しています。乾電池を新しいものと交換してください。

雑音が入る、音が悪い
- 電池が消耗しています。乾電池を新しいものと交換してください。
- 電波が弱いところで聞いている可能性があります。建物や乗り物の中では電波が弱いので、なるべく窓側でお聞きください。
- FM放送の受信時は、内蔵イヤーレシーバーのコードまたはヘッドホン（別売）のコードがアンテナの働きをします。スピーカーでFM放送を聞くときも、イヤーレシーバーのコードを白線が見えるまで引き出して（別売りのヘッドホンの場合は、できるだけコードを長く伸ばした状態で）、お使いください。詳しくは、おもて面の「はっきりした音で聞くには」の「アンテナを確認する（FM放送）」をご覧ください。
- 家電製品やスマートフォン（または携帯電話）などの電波を発する機器の近くで使用すると、雑音が入ることがあります。電波を発する機器から離れた位置で本機をお使いください。
- 別売りの充電スタンドにのせて充電しながら放送を聞くと、雑音が入ることがあります。そのような場合は、まず充電を済ませ、スタンドから外してお使いください。

本機の電源が突然切れた
- 電池が消耗しています。乾電池を新しいものと交換してください。
- オートオフ機能を設定している場合は、設定した時間が経過すると自動的に本機の電源が切れます。オートオフ機能によって自動的に電源が切れるのを止めたいときは、設定を解除（「切」）してください。解除のしかたについては、「オートオフ機能を設定する」の「オートオフを解除するには」をご覧ください。

「ホールド中」と表示され、操作できない
- ホールド機能が働いていますので、解除してから操作してください。解除のしかたについては、おもて面の「ホールド機能について」をご覧ください。

ダイレクトボタンを押しても聞きたい放送局が受信できない
- ダイレクトボタンを押す前に、忘れずに機能（FMまたはAM）を選んでください。
- ダイレクトボタンを長押しすると、現在受信中の放送局を記憶するため、登録が別の放送局と置き換わっている可能性があります。もう一度、ダイレクトボタンに放送局を記憶させてください。
- 「設定」メニューの表示中は、ダイレクトボタンを押しても放送局を受信できません。

本機の調子が悪いときは
- 電源が切れないときや動作が不安定なときは、リセットすることで改善する場合があります。ピンなどの先の細いもので**リセット**ボタンを押してください。本機がリセットされて、電源が切れます。

リセットについてのご注意

リセットを行うと、本機に登録されていた以下の情報は削除されます。必要に応じて設定し直してください。
- 時計設定
- 最後に聞いていた放送局
- 有効にしていたアラーム設定（リセットにより「入」から「切」に戻ります*。）

* 設定した「アラーム時刻」は、削除されずに本機に登録された状態で保持されます。

主な仕様

受信周波数：
FM：76.0 MHz ～ 108.0 MHz
（0.1 MHzステップ）
AM：531 kHz ～ 1,710 kHz
（9 kHzステップ）
スピーカー：
直径28 mm、丸形、7.2 Ω（モノラル）
実用最大出力（JEITA*）：
約80 mW
出力端子：
🎧（ヘッドホン）端子（ステレオミニジャック）1個
電源：
単4形乾電池1本（DC 1.5 V）
最大外形寸法：
約57.6 mm × 94.5 mm × 18.9 mm
（幅／高さ／奥行き）（最大突起部含む）
約55 mm × 93.5 mm × 13.7 mm
（幅／高さ／奥行き）（最大突起部含まず）
質量：
約80 g（付属の単4形乾電池含む）
同梱品：
単4形マンガン乾電池（お試し用）（1）
イヤーパッド（1）
キャリングケース（1）
取扱説明書（本書）
保証書（本書に印刷）

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- 本書には、保証書が印刷されています。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になったり、サポートページの情報も参考にしてください。サポートページについては、おもて面の「サポートページのご案内」をご覧ください。

それでも具合の悪いときは
お買い上げ店、またはソニーの相談窓口（おもて面）にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは、保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社では本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

⚠警告

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る
この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する
1年に1度は、故障したまま使用していないかなどを点検してください。

故障したら使わない
動作がおかしくなったり、キャビネットが破損しているのに気づいたら、すぐにソニーの相談窓口（おもて面）またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

❶ 電源を切り、電池を取り出す。
❷ ソニーの相談窓口（おもて面）またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理を依頼する。

警告表示の意味
取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号
火災　感電

行為を禁止する記号
禁止　接触禁止　分解禁止

行為を指示する記号
指示

⚠危険　火災　感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

火の中に入れない　禁止

分解しない
故障や感電の原因となります。内部の点検および修理はソニーの相談窓口（おもて面）またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご依頼ください。　分解禁止

火のそばや炎天下などへ放置しない　禁止

可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用しない
清掃用や潤滑用などの可燃性ガスを本機に使用すると、電源スイッチの接点、静電気などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や火災が発生する恐れがあります。　禁止

⚠警告　火災　感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

内部に水や異物を入れない
本機の上に熱器具、花瓶など液体が入ったものやローソクを置かない
火災や感電の危険をさけるために、本機を水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、本機の上に花瓶などの水の入ったものや例えば火のついたローソクのような、火炎源を置かないでください。万一、水や異物が入ったときは、すぐに本機の電源スイッチを切り、ソニーの相談窓口（おもて面）またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。　禁止

自然放熱を妨げない
本機に新聞紙、テーブルクロス、カーテン、布などをかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上、または壁や家具に密接して置いて、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災の原因となることがあります。　禁止

雷が鳴りだしたら、内蔵イヤーレシーバーやヘッドホン（別売）のコードに触れない
感電の原因となります。　接触禁止

本体を布団などでおおった状態で使わない
熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。　禁止

⚠注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

照明器具を製品の近くで当てない
本体が変形し故障に至ることがあります。　禁止

はじめから音量を上げすぎない
突然大きな音が出て耳をいためることがあります。音量は徐々に上げましょう。特に内蔵イヤーレシーバーやヘッドホン（別売）で聞くときにはご注意ください。　禁止

大音量で長時間つづけて聞きすぎない
耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特に内蔵イヤーレシーバーまたはヘッドホン（別売）で聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。　禁止

イヤーパッドが確実に装着されているか確認する
イヤーパッドがイヤーピースに確実に装着されていない場合、使用中にはずれて耳の中に残る場合があります。ご使用前にイヤーパッドがイヤーピースに確実に装着されているか確認してください。　指示

歩行中や運転中に内蔵イヤーレシーバーやヘッドホン（別売）を使用しない
歩行中または自転車、バイク、自動車などの運転中は内蔵イヤーレシーバーやヘッドホン（別売）を使用しないでください。交通事故の原因となります。　禁止

周囲の音が聞こえにくい危険な場所では使用しない
踏切や駅のホーム、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では内蔵イヤーレシーバーやヘッドホン（別売）を使用しないでください。　禁止

乳幼児の手の届く場所に置かない
内蔵イヤーレシーバーまたはヘッドホン（別売）使用時にコードが首に巻きつくと、窒息する恐れがあります。また、イヤーパッドを飲みこむ危険性もあります。絶対に乳幼児の手の届く場所には本機およびイヤーパッドを置かないでください。　禁止

通電中の製品に長時間ふれない
長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。　禁止

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火による**大けが**や**失明**を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

本機では以下の電池をお使いいただけます。（リチウム乾電池は使用できません。）電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

乾電池
単4形アルカリ乾電池
単4形マンガン乾電池

充電式電池
単4形ニッケル水素充電池（Ni-MH）

⚠危険

乾電池が液漏れしたとき

乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない
液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口（おもて面）またはソニーサービス窓口にご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠危険
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 火の中に入れない。分解、過熱しない。
- 電池を火のそばや直射日光のあたるところなど、高温の場所での使用、保管、放置しないでください。破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。